

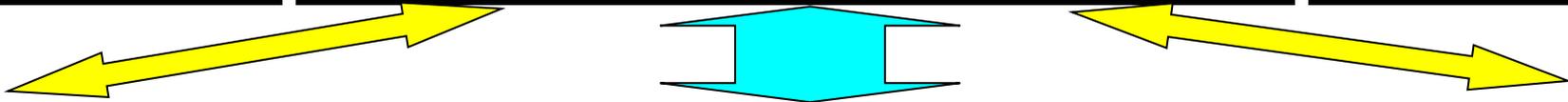
平成27年度 学力向上アクションプラン

尼崎市立 西小 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題
<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力調査の結果から見られる課題 <ul style="list-style-type: none"> (1)各教科の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・国語 文章の内容を理解し、要約や条件に合わせた作文などの文章力をつける。 ・算数 自分の考えを数学的に表現する力をつける。 (2)質問紙調査 <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲を高める。 ・授業においては、算数はわかりやすいと答えたのに対して、国語がわかりやすいと答えた児童が少なかった。 ○ 保護者アンケートから見られる課題 <ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムが不規則な家庭がみられる。

課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)		
授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組
<ul style="list-style-type: none"> ○年3回の校内授業研究会で、大学の講師を招聘し、指導助言により授業の質を高める。 ○高学年の少人数制による授業で個々の課題にあった指導を行う。 ○高学年の教科担任制を推進し指導の工夫・改善に取り組む。 ○低・中・高学年ごとに「聞き方・話し方」を掲示し、学年に応じた聞き方・話し方の技術向上を図る。 ○「学習のきまり」7項目を定め、掲示し、全教員共通理解のもと、学習態度を身につけさせる。 ○全員研究授業を実施し、指導力向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導補助嘱託員と連携し、同室複数指導の実施と、個別支援計画を作成し、一人ひとりに応じたきめ細やかな指導を図る。 ○放課後学習【基礎型支援】に積極的に参加させ、家庭学習に取り組む態度・意欲の向上を図る。 ○予習、授業、復習の一体的な取り組みを行う。 ○家庭学習ノート【学習習慣支援】を作成し活用する。 ○読書力育成のため、すき間読書や朝読書、親子読書を行う。 ○昼の帯タイムで計算、漢字の学習に取り組み、基礎学力の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTを活用した授業を行う。

本年度の具体的な目標
<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力・学習状況調査 <ul style="list-style-type: none"> (1)学力調査 <ul style="list-style-type: none"> ・国語:主として知識の平均正答率を78%まで引き上げる。 国語:主として活用の平均正答率を66%まで引き上げる。 ・算数:主として知識の平均正答率を82%まで引き上げる。 算数:主として活用の平均正答率を62%まで引き上げる。 (2)質問紙調査 <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭で復習をしている」を70%以上に引き上げる。 ・「家庭で読書をしている」を60%以上に引き上げる。



校種間連携
<ul style="list-style-type: none"> ○小から中への円滑な接続を図るためのアプローチカリキュラムの検討と試行 ○入学前テストの検証をふまえた小中における授業改善の研修 ○夏季合同研修会の実施

活用する支援内容	
支援内容	具体的内容
(1)児童生徒支援	<ul style="list-style-type: none"> ○放課後学習 ○夏季休業期間 6回 ○算数科において、指導補助嘱託員と同室複数指導を実施
(2)教員指導力向上支援	<ul style="list-style-type: none"> ○授業モデル作成(関西大学初等部 今宮信吾先生 3回) ○指導力向上研修会(関西大学初等部 今宮信吾先生 1回)
(3)地域人材活用支援	
(4)学習習慣支援	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習ノート作成 ○学習支援に係る書籍代
(5)その他	

家庭・地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> ○「家読」の実施による読書力の向上 ○家庭学習ノートの活用による学習習慣の定着 ○学力調査結果の公表